

**2026年3月期 第2四半期**

# **決算説明資料**

**2025年11月27日**

**小池酸素工業株式会社**

**証券コード 6137**

# 目次

---

- 2026年3月期 第2四半期 決算の概要 P2
- 2026年3月期 業績予想 P16
- APPENDIX P20

# 2026年3月期 第2四半期 決算の概要

---

# 2026年3月期 第2四半期 連結決算サマリー

- 2026年3月期第2四半期は、前年同期比で減収減益。
- 機械装置セグメントで、新規顧客への営業活動強化や当社オンリーワン技術であるDBC（Dual Beam Control）ファイバーレーザー切断機の拡販に注力するも上半期における業績への寄与は限定的。
- また、新製品の開発を加速したことにより開発費が当初計画を上回ったこと、今年度4月より稼働のERPシステム（統合基幹業務システム）の導入に伴う費用が想定より膨らんだこと等の要因あり。

※2025年9月10日発表の修正後予想 (百万円)

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	売上比	増減率 (前年同期比)	2026年3月期 通期予想※	進捗率
連結売上高	25,393	<b>23,176</b>	100%	△8.7%	<b>54,000</b>	42.9%
売上総利益	8,242	<b>7,294</b>	31.5%	△11.5%	-	-
販売費及び 一般管理費	5,930	<b>6,271</b>	27.1%	+5.8%	-	-
営業利益	2,311	<b>1,023</b>	4.4%	△55.7%	<b>4,300</b>	23.8%
経常利益	2,609	<b>1,263</b>	5.4%	△51.6%	<b>4,900</b>	25.8%
親会社に帰属する 当期純利益	1,562	<b>584</b>	2.5%	△62.6%	<b>2,870</b>	20.3%

# セグメント別決算概要

- 機械装置セグメントの減収減益幅が大きい。

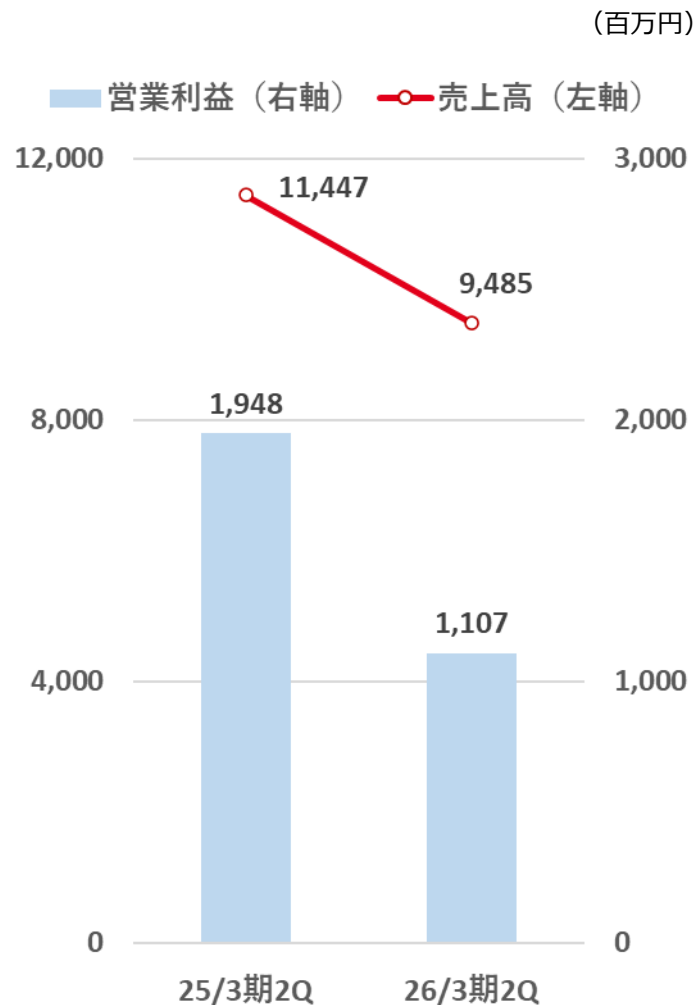
(百万円)

	2025年3月期 第2四半期		2026年3月期 第2四半期		増減額	
	売上高	営業利益※1	売上高	営業利益※1	売上高	営業利益※1
機械装置	11,447	1,948	9,485	1,107	△1,962	△841
高圧ガス	9,609	716	9,573	604	△36	△112
溶接機材	4,131	282	3,925	139	△206	△143
その他	205	70	192	33	△13	△37
単純合計	25,393	3,017	23,176	1,885	△2,217	△1,132
調整額※2	—	△706	—	△862	—	△156
連結	25,393	2,311	23,176	1,023	△2,217	△1,288

※1 営業利益：各セグメントの数値は調整前ベース

※2 調整額：報告セグメントに帰属しない全社費用（一般管理費）等

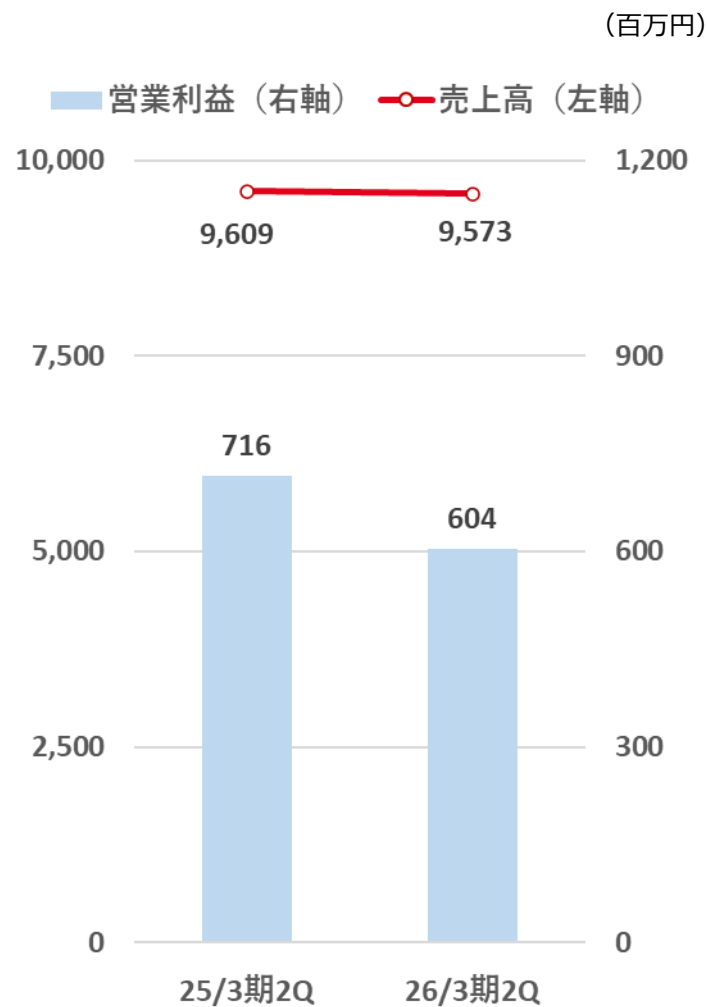
# セグメント別決算概況：機械装置セグメント



- 機械装置セグメントは、前年同期比で減収減益。
- 国内市場では、造船業界において手持ち工事量が増加するなど比較的順調に推移。  
一方、他の需要先では仕事量の減少傾向が続く中、新規顧客への営業活動強化や当社オンリーワン技術であるDBC (Dual Beam Control) ファイバーレーザー切断機の拡販に注力するも上半期における業績寄与は限定的。
- 海外市場では、中国・韓国にて造船業界の設備投資に回復傾向が見られたが、全般的に販売は低調に推移。

※営業利益は全社費用等の調整前ベース

# セグメント別決算概況：高圧ガスセグメント

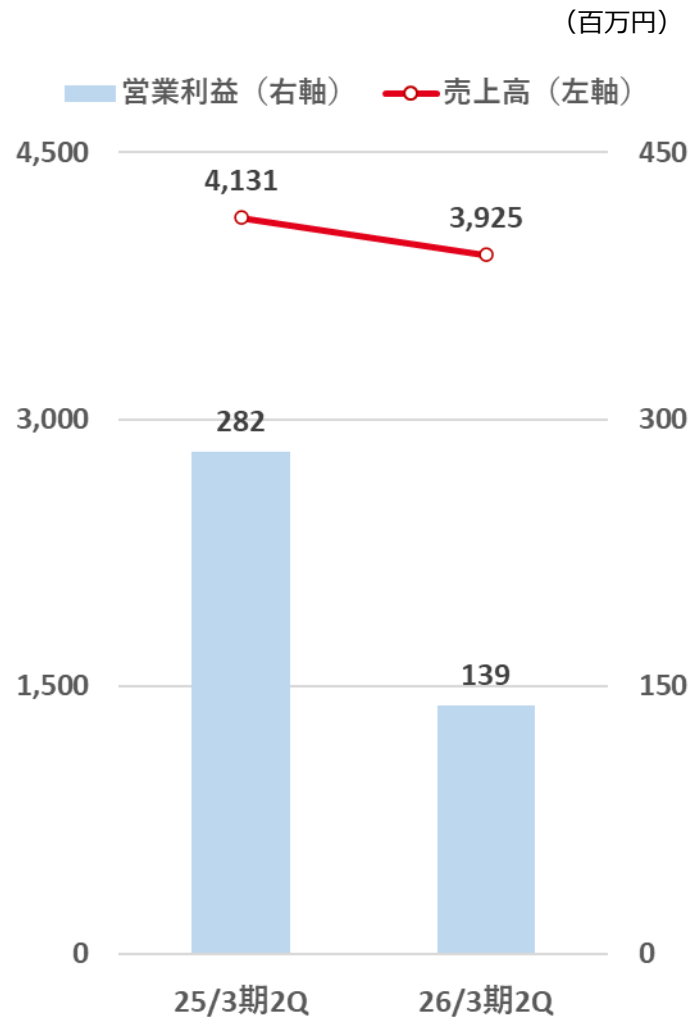


- 高圧ガスセグメントは、前年同期比で売上高はほぼ横ばい、営業利益は減少。
- 産業ガス分野では、原材料や物流コストの上昇等による価格改定、取引の深耕拡大、および新規拡販活動に注力したものの、市場環境が停滞。
- 医療分野では、仕入価格の上昇等に伴う価格改定、CPAPレンタルや高気圧酸素治療装置の営業活動を強化するも、営業利益は減少。

※CPAP：睡眠時無呼吸症候群患者の呼吸をサポートする器具

※営業利益は全社費用等の調整前ベース

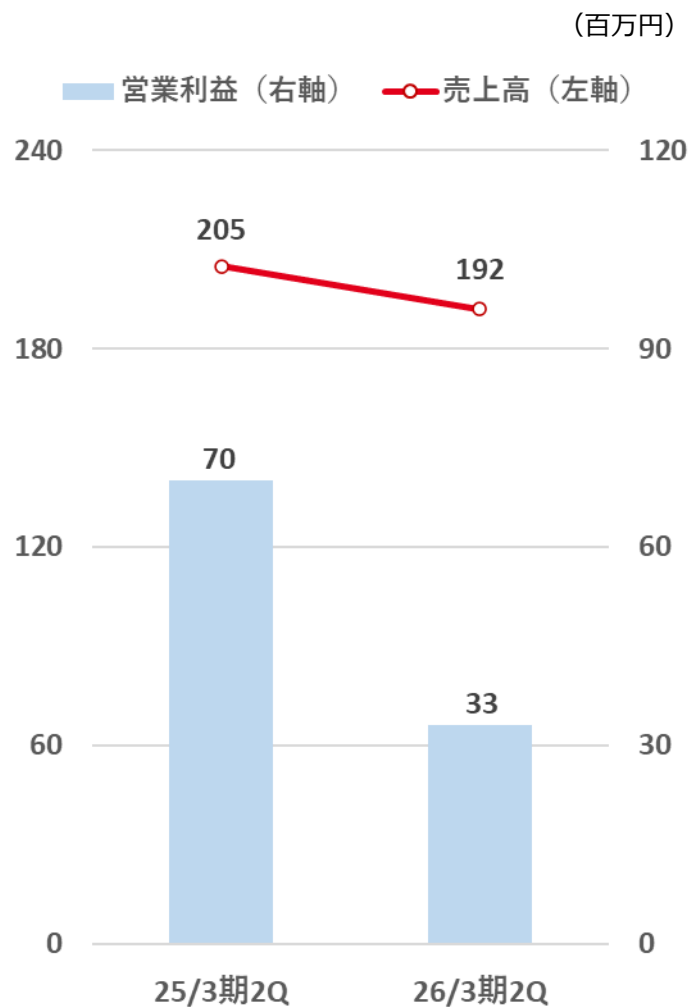
# セグメント別決算概況：溶接機材セグメント



- 溶接機材セグメントは、前年同期比で減収減益。
- お客様の労働環境改善や省力化、効率化につながる提案を行い、付加価値の高い営業活動を進めたが、鉄骨・建築・建機等向けの需要減少を背景に溶接材料の出荷量が低迷。

※営業利益は全社費用等の調整前ベース

# セグメント別決算概況：その他



- その他セグメントは、前年同期比で減収減益。
- 海外向けの排ガス処理装置の受注減少が要因。

※営業利益は全社費用等の調整前ベース

# 地域別売上高

- 海外売上高は米国とアジア（主に中国・韓国）を中心に全体の約24%。
- 前年同期比では国内よりも海外の方が減少率大きい。

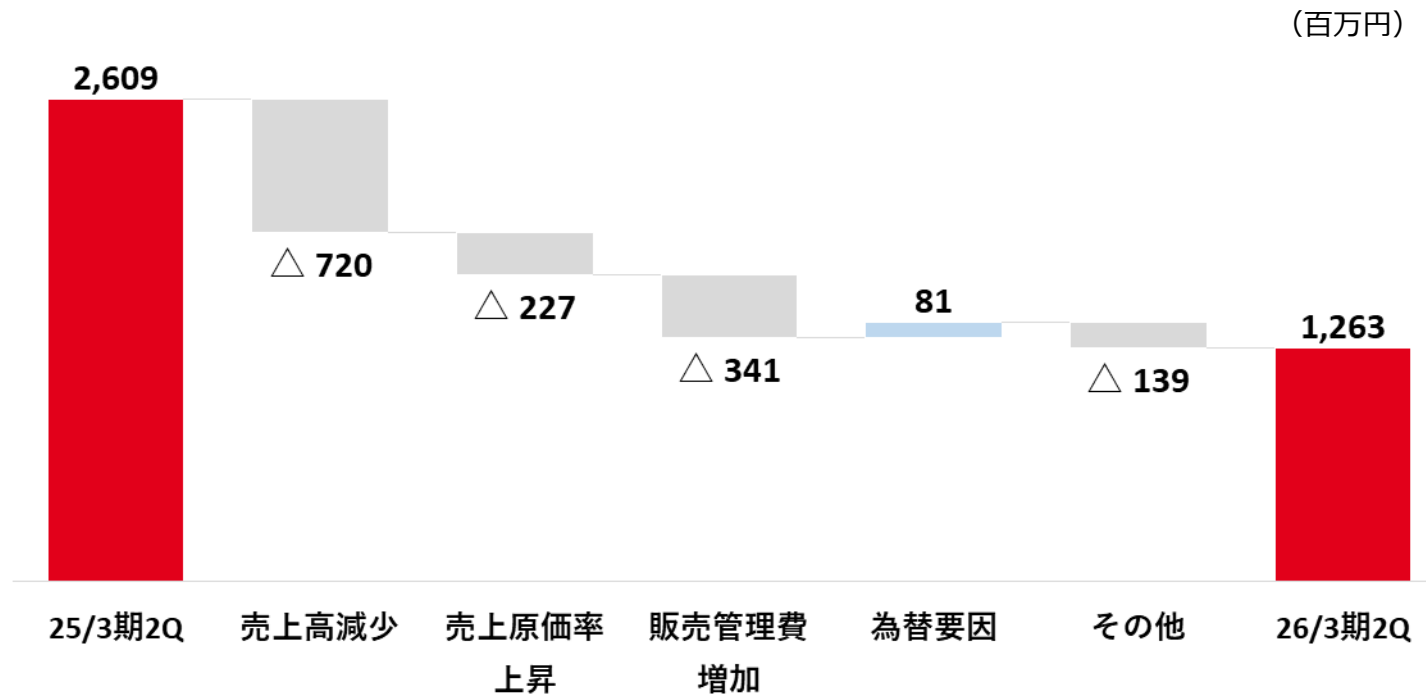
(百万円)

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	構成比	増減率 (前年同期比)
日本	18,511	17,675	76.3%	△4.5%
米国※	3,208	2,970	12.8%	△7.4%
アジア	2,721	1,879	8.1%	△30.9%
欧州	588	511	2.2%	△13.1%
その他の地域※	362	140	0.6%	△61.4%
合計	25,393	23,176	100%	△8.7%

※従来は米国以外も含めて「北米及び中南米」として集計していましたが、今回から米国以外の売上高を「その他の地域」に区分しています。

# 経常利益増減要因

- 経常利益の主な減少要因は、売上高の減少に加えて、新製品の開発を加速したことで、開発費が当初計画を上回ったことによる売上原価率の上昇や、今年度4月より稼働のERPシステムの導入に伴う費用が想定より膨らんだこと等による販売管理費の増加。



# 連結貸借対照表

- 資産の部 : 現金及び預金△2,941百万円、売上債権△2,093百万円
- 負債の部 : 仕入債務△1,253百万円
- 純資産の部 : 利益剰余金△516百万円

(百万円)

	2025年3月末	2025年9月末	増減額
<b>資産の部</b>			
流動資産	41,686	<b>37,725</b>	△3,961
固定資産	33,048	<b>34,894</b>	+1,846
資産合計	74,735	<b>72,620</b>	△2,115
<b>負債の部</b>			
流動負債	22,565	<b>20,040</b>	△2,525
固定負債	6,597	<b>7,171</b>	+574
負債合計	29,163	<b>27,211</b>	△1,952
<b>純資産の部</b>			
株主資本	33,396	<b>32,918</b>	△478
その他包括利益累計額	9,160	<b>9,495</b>	+335
非支配株主持分	3,014	<b>2,995</b>	△19
純資産合計	45,571	<b>45,409</b>	△162
負債純資産合計	74,735	<b>72,620</b>	△2,115
(自己資本比率)	(56.9%)	<b>(58.4%)</b>	(+1.5%)

# キャッシュ・フロー計算書

- 営業CF：減価償却費914百万円、棚卸資産増加1,176百万円
- 投資CF：有形固定資産取得による支出826百万円
- 財務CF：長期借入金返済・ファイナンスリース債務返済567百万円、配当金支払1,096百万円

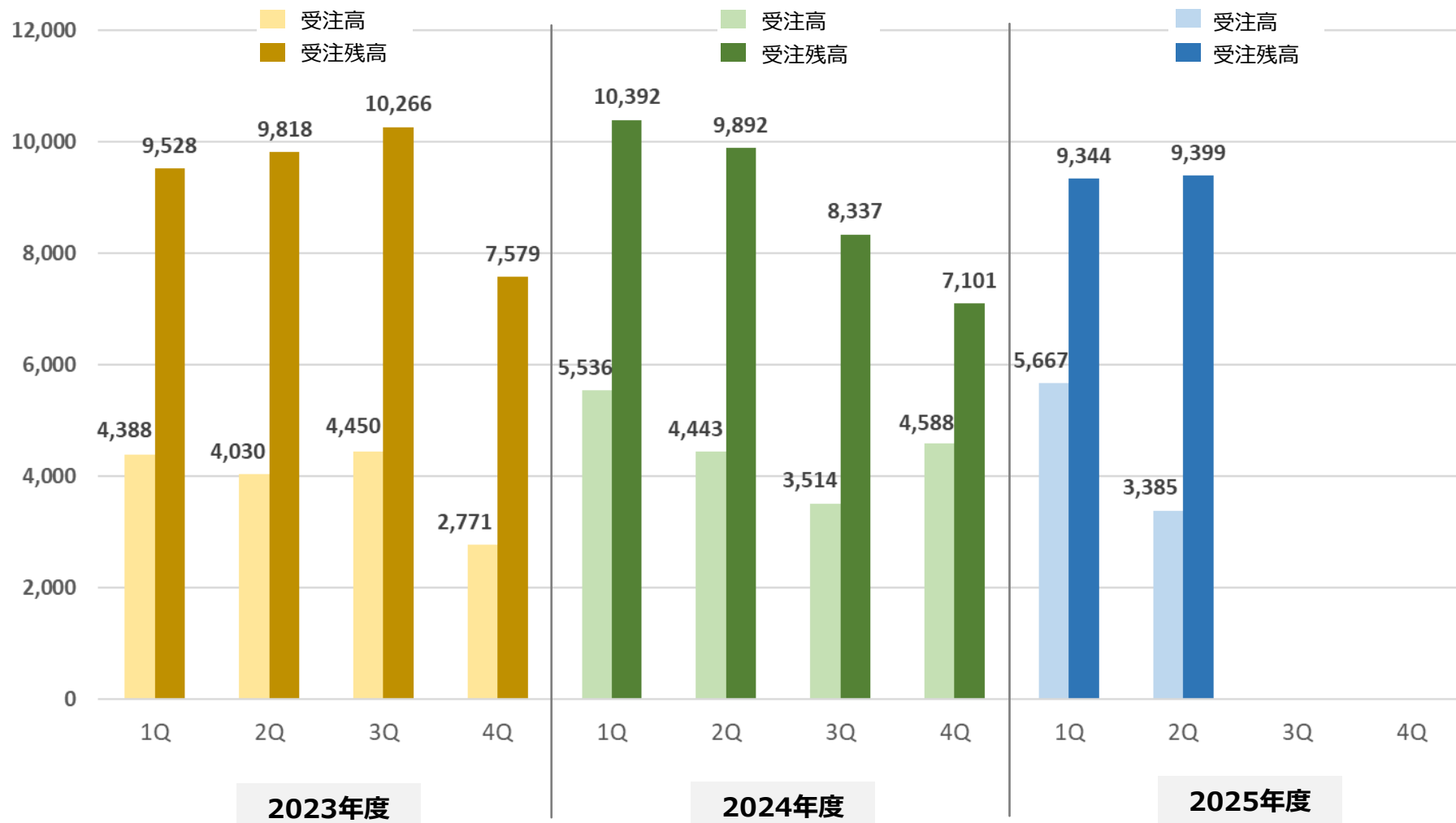
(百万円)

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	1,304	△94	△1,398
投資活動による キャッシュ・フロー	△371	△949	△578
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,670	△1,726	△56
現金及び現金同等物に 係る換算差額	375	△218	△593
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△362	△2,988	△2,626
現金及び現金同等物の 期首残高	16,190	16,493	+ 303
現金及び現金同等物の 中間期末残高	15,828	13,504	△2,324

# 受注高・受注残高推移（機械装置セグメント）

- 受注残高は、2024年度第2四半期まではサウジアラビア案件が計上されていたことを考慮すると、引き続き高い水準で推移。

(百万円)



※受注高は四半期ごとの数値、受注残高は各四半期末時点の数値

# 2025年度上半期トピックス①

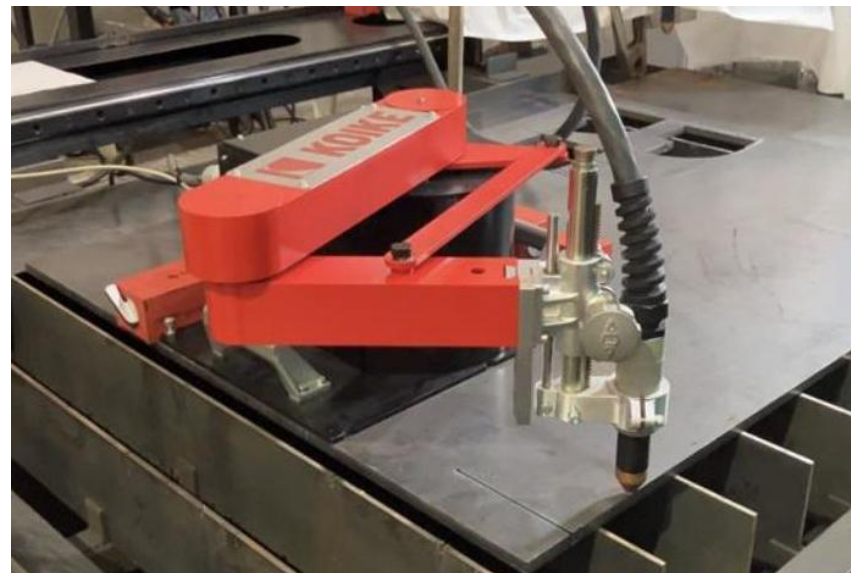
## 米国でDBCファイバーレーザー切断機 初納入

- 米国では、今後はより高品質な切断が可能で、省人化につながるファイバーレーザー切断機へのニーズが高まると想定。
- シカゴでの展示会等、かねてからDBCファイバーレーザー切断機の受注活動を行ってきたが、5月末に現地鉄鋼製品メーカーに初納入。
- 今後は海外向け販売にも注力。



## ポータブル自動切断機「DTP-25 Crab」新発売

- 当社では大規模工場で使用される大型切断機とともに、いわゆる町工場や屋外等で使用される持ち運び可能な小型切断機の開発・販売にも注力してきた。
- Crabは軽量であることに加えて、ダイレクトティーチング機能によりCAD/CAMによるデータ作成が不要（NCデータ切断にも対応）であり、切断作業の効率化に寄与。8月から受注開始し、10月から新発売。
- なお、製品名Crabは、機体形状と動作が蟹の脚に似ていることに由来。



# 2025年度上半期トピックス②

## プライベートフェア開催 / 40kW-DBC開先ファイバーレーザー切断機 新発売

- 2025年9月11日～12日の日程で、新発売となる「40kW-DBC開先ファイバーレーザー切断機」の発表会を兼ねたプライベートフェアを千葉市にあるKOIKEテクノセンターにて開催。
- 同製品は国内最大級となる40kW発振器搭載による大出力性能を活かした厚板開先切断（造船等で求められる斜め切断）と高速切断を実現。造船系ユーザーを中心に多数の新規引き合いを獲得。

<プライベートフェア>



<40kW-DBC開先ファイバーレーザー切断機 >



# 2026年3月期 業績予想

---

# 業績予想（連結）

- 2026年3月期業績予想は据え置き。
- 機械装置セグメント中心に下半期の業績回復を見込む。

(百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 通期予想	増減金額	前期比
連結売上高	55,206	<b>54,000</b>	△1,206	△2.2%
営業利益	5,448	<b>4,300</b>	△1,148	△21.1%
経常利益	6,046	<b>4,900</b>	△1,146	△19.0%
親会社に帰属する 当期純利益	3,633	<b>2,870</b>	△763	△21.0%

# 業績予想（セグメント別）

- セグメント別の業績予想については、機械装置、高圧ガス、溶接機材の各セグメントとも公表済の数値から変更。その他セグメントは据え置き。

## <業績予想（セグメント別）>

（百万円）

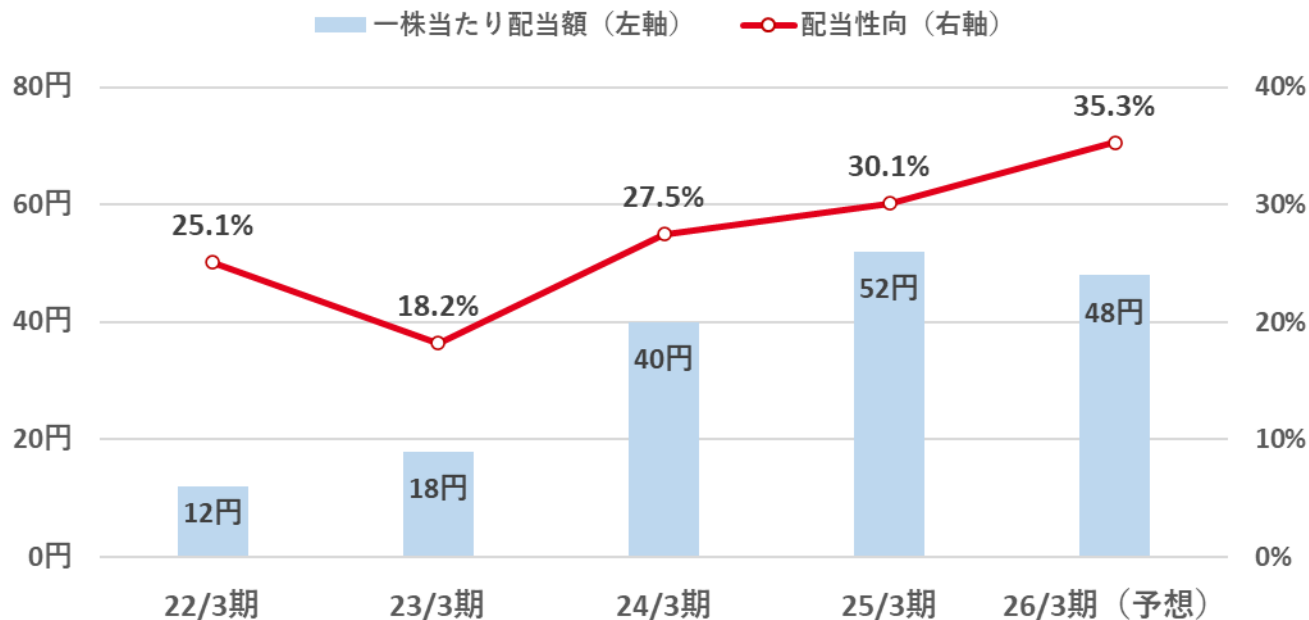
	2025年3月期 実績		2026年3月期 通期予想		前年比	
	売上高	営業利益※1	売上高	営業利益※1	売上高	営業利益※1
機械装置	25,885	4,931	<b>24,100</b>	<b>4,250</b>	△1,785	△681
高圧ガス	20,400	1,372	<b>20,400</b>	<b>1,240</b>	±0	△132
溶接機材	8,164	583	<b>7,900</b>	<b>300</b>	△264	△283
その他	756	192	<b>1,600</b>	<b>210</b>	+844	+18
単純合計	55,206	7,079	<b>54,000</b>	<b>6,000</b>	△1,206	△1,079
調整額※2	—	△1,631	—	△1,700	—	△69
連結	55,206	5,448	<b>54,000</b>	<b>4,300</b>	△1,206	△1,148

※1 営業利益：各セグメントの数値は調整前ベース

※2 調整額：報告セグメントに帰属しない全社費用（一般管理費）等

# 株主還元（配当方針）

- 2026年3月期は前年度比で減収減益の業績予想であるが、期初の配当予想額を維持。



※当社は2025年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。  
そのため、25/3期以前についても株式分割後の株数であったと仮定して配当額を記載しております。

# APPENDIX

---

# 会社概要

会社名	小池酸素工業株式会社
本社所在地	東京都墨田区太平三丁目4番8号 KOIKE Bld.7階
創業年月日	1918年10月15日
会社設立年月日	1936年12月8日
資本金	40億2847万2259円
上場区分	東証スタンダード（コード：6137）
従業員数	連結 1,060名、単体 325名（2025年3月31日現在）
代表者	小池 英夫
事業内容	ガス・溶接・切断のトータルシステムサプライヤーとして、鉄やアルミ・ステンレスなど金属材料を加工するあらゆる産業に様々な種類のガスおよび溶接・切断のための加工機械やシステムならびに関連製商品を開発・生産・販売
国内製造拠点	【機械装置】KOIKEテクノセンター（千葉市緑区）、【切断器具、医療機器】株式会社群馬コイケ、【ガス】千葉工場、白井工場、兵庫工場、その他充填会社
国内販売拠点	関東支社、京葉支社、札幌営業所、東北営業所、茨城営業所、北関東支店、名古屋支店、大阪支店、神戸営業所、中国支店、四国営業所、九州支店、長崎営業所 他
国内グループ会社	株式会社小池メディカル、コイケ酸商株式会社、株式会社群馬コイケ（以上、連結子会社）、株式会社コイケテック、株式会社菱小、小池化学株式会社、中国アセチレン株式会社 他
海外グループ会社	Koike Aronson, Inc.、Koike Europe B.V.、Koike Korea Engineering Co., Ltd.、小池酸素(唐山)有限公司（以上、連結子会社）、Koike Cutting & Welding(INDIA)PVT.LTD 他

# 会社概要

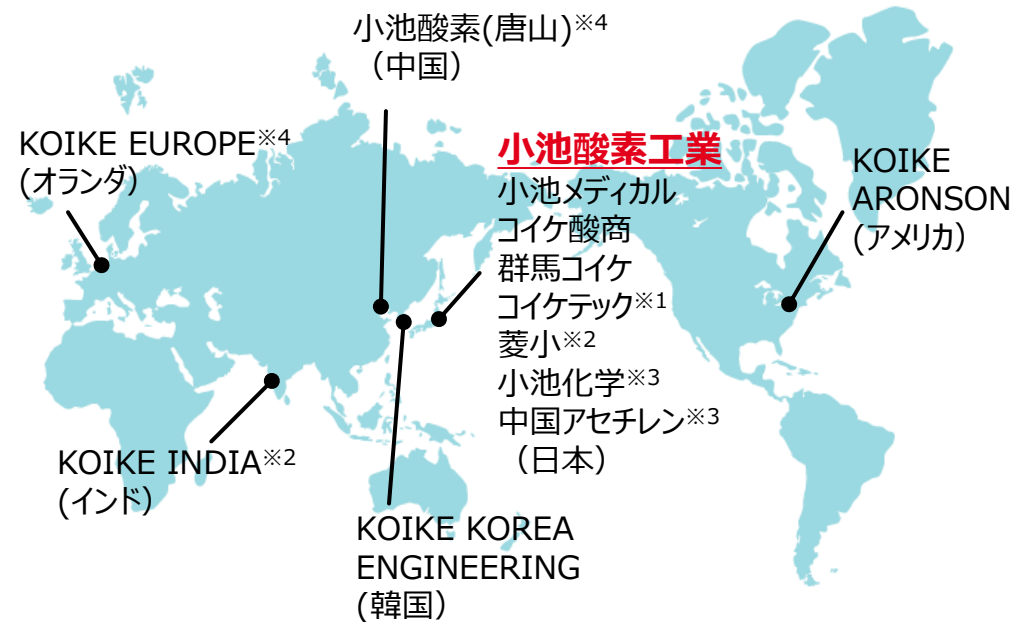
## <ミッション>

社会に不可欠な製商品とサービスを途切れることなく届け、安心して暮らせる世界を支える

## <事業セグメント>



## <グローバルネットワーク>



※1 持分法適用会社

※2 非連結子会社

※3 関連会社

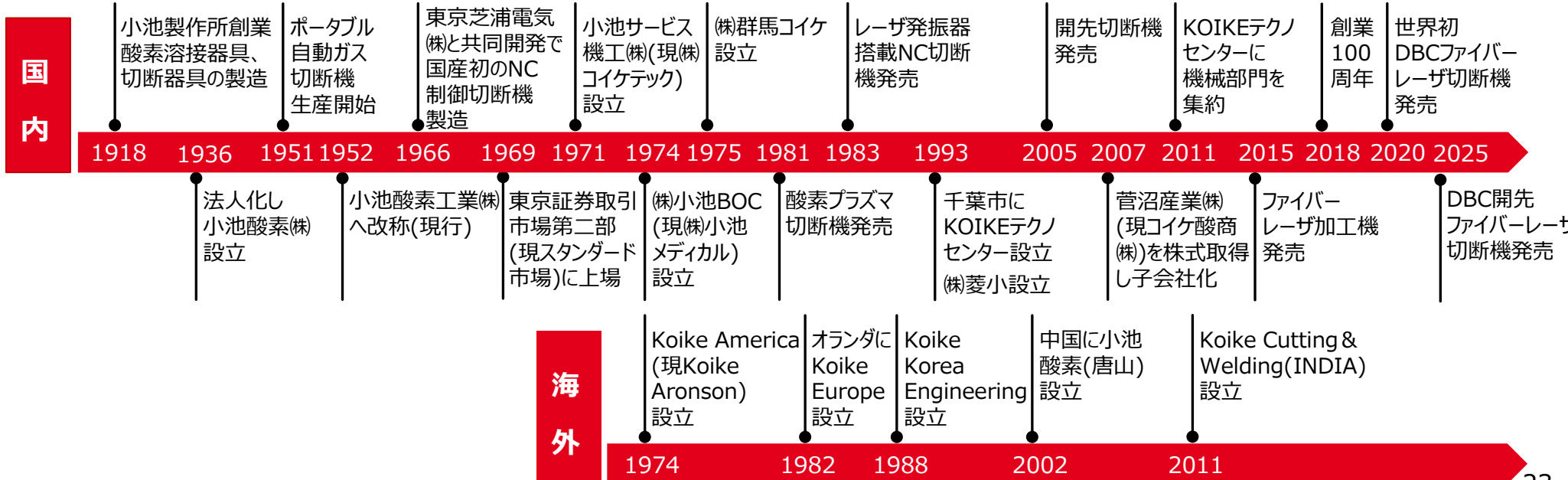
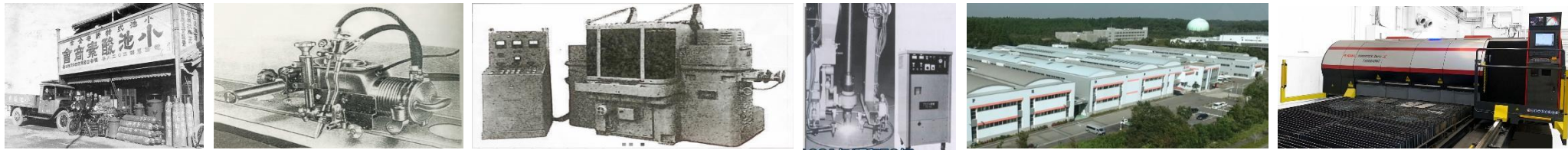
※4 別途、中国、フランス、イタリアに販売子会社あり

# KOIKEヒストリー

KOIKEは1918年(大正7年)の創業以来、ガスエネルギーを利用した工作機械のオピニオンリーダーとして、基幹産業発展の一翼を担ってきました。

時代の進歩とともに、他に先駆けて「ガス」「プラズマ」「レーザ」を利用した切断機を開発し、NCによる高度な自動システムを製品化してまいりました。また、ガス・溶接・切断のトータルシステムサプライヤーとして、お客様のあらゆるご要望にお応えできる体制を確立するに至っております。

KOIKEはさらに続く100年もこの国の、そして世界のモノづくりの礎となっていきます。



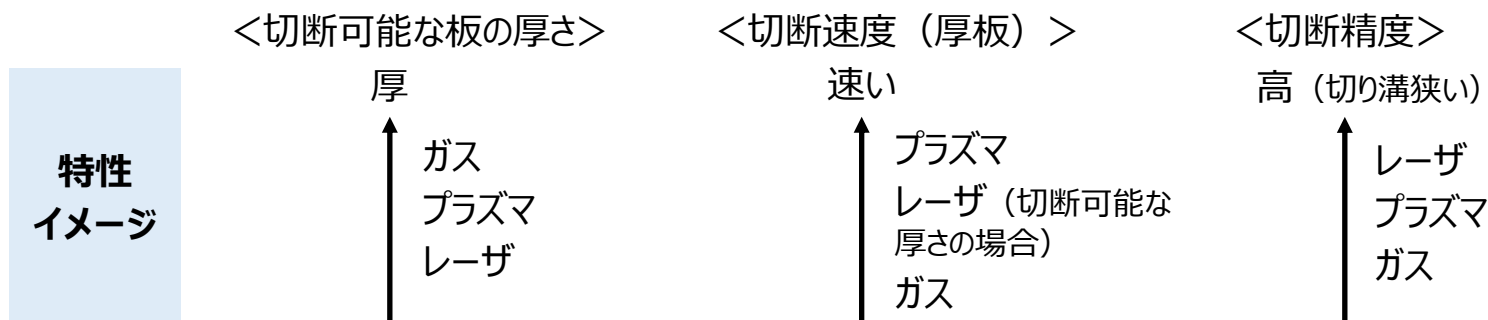
# セグメント概要

セグメント名	売上比率 (2024年度)	製品ラインナップ	概要
機械装置	46.9%	切断機、溶接治具、関連ソフトウェア等 	<ul style="list-style-type: none"> <li>厚板切断を中心に、熱切断（ガス・プラズマ・レーザ）技術を活かし、半自動のポータブル切断機から大型のCNCT切断機まで多くの機種を製造販売。周辺機器から関連ソフトウェアまで幅広く取り扱う。</li> <li>販売先は造船、建築資材、橋梁、建設機械向けが大半。</li> </ul>
高圧ガス	36.9%	ガス、関連機器、医療機器等 	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業用・医療用主体に高圧ガスを製造・販売。シリンダーガス（ガスボンベ）供給メーカーとして、全国に充填工場を構え、販売店、各業種の工場及び病院向けに納入。</li> <li>医療分野では呼吸器関連中心に展開し、CPAP、酸素濃縮器、酸素流量計、吸引器、パルスオキシメーター等を取り扱う。</li> </ul>
溶接機材	14.8%	溶接機、溶接ワイヤ、溶接関連資材等 	<ul style="list-style-type: none"> <li>溶接関連機材・製商品の国内代表メーカーと提携し、商社として、溶接機・溶接ロボット・溶接自動化装置や溶接材料を販売。</li> <li>また、各種産業機器・保護具等、生産現場で必要な器具を幅広く販売。ガスホース接手や乾式安全器では、国内・海外のトップブランドであるアポロロックを有す。</li> </ul>
その他	1.4%	排ガス処理装置、ヘリウム回収精製装置等 	<ul style="list-style-type: none"> <li>液晶や半導体製造に使用される可燃性ガス、毒性ガス等を独自の方式で燃焼、分解させる燃焼式排ガス処理装置を製造・販売。</li> <li>大学や研究機関で使用されるヘリウム液化機や、光ファイバーや半導体等の製造工程中に利用されたヘリウムガスを効率良く回収・精製しリサイクルするヘリウム回収精製装置を製造・販売。</li> </ul>

# ガス、プラズマ、レーザーについて

- 切断材料となる金属は大きく分けて薄板（自動車等）と厚板（造船、建築資材、橋梁、建設機械等）があり、当社は厚板を中心とした切断機を取り扱う。厚板切断機は薄板用と比較するとニッチな市場。
- 切断（溶断）方法は、主にガス、プラズマ、レーザーの3種類。いずれも熱エネルギーで金属を溶かして切断することは同じだが、それぞれ特性があり、使用目的によって使い分けされる。

切断方法	概要	主な切断用途
ガス	ノズルの先端で形成された炎によって、切断部を加熱し、そこに酸素を吹きこみ、酸化反応を起こさせるとともに、溶融した切断材料を吹き飛ばして切断。	造船、建築資材、橋梁、建設機械等
プラズマ	加工する金属と電極の間においてプラズマアークを作り出し、それにより高温になった切断材料が溶融した後、エアやガスなどの気体を強い圧力で流し込み、溶融部分を吹き飛ばすことによって切断。	造船、建築資材、橋梁、建設機械等
レーザー	虫眼鏡による熱発生原理を応用した切断方法。レーザービームをノズル先端より材料に照射する際に、レンズで絞り込み、切断材料が溶融した後、各材料に最適な種類 of ガスをレーザービームと同軸に切断材料に吹き付けて、溶融部分を吹き飛ばすことによって切断。	建築資材、橋梁、建設機械等



---

本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【お問い合わせ先】

小池酸素工業株式会社

経営企画室長：川田 担当：山村

TEL：03-3624-3118

Email：IR@koikeox.co.jp

YouTube KOIKEチャンネル ★チャンネル登録お願いします★

<https://www.youtube.com/@koikesansokogyo2140>